

文芸単行本 名取佐和子著『銀河の図書館』のご紹介

感動の輪が広がっています！ ～本を愛する人と、これから本と出会うすべての人へ～

宮沢賢治の言葉と高校生の「今」が深く共鳴する青春小説

発行元：実業之日本社 体裁：単行本(ソフトカバー)320頁 定価：1700円+税 ISBN：978-4-408-53859-4 刊行日：2024年8月1日



「驚きとともに、
ページを遡ってほしい」
—松村幹彦さん(図書館流通センター)

「私の中で、
青春小説の
傑作が更新された」
—江藤宏樹さん(広島篤屋書店)

「こんなに
泣いてしまうとは」
—石坂華月さん(未来屋書店大日店)

本の目利きが
発売前から大注目！

各地の図書館司書が選ぶ「おススメ本」に続々ランクインした

『図書館のはこぶね』に続くシリーズ第2弾！

「ほんとうの幸いは、遠い。」宮沢賢治のことばを残して、先輩が消えた——

県立野亜高校の図書館で活動する「イーハトー部」は、宮沢賢治を研究する弱小同好会だ。部長だった風見先輩は、なぜ突然学校から消えてしまったのか。高校生たちは、賢治が残した言葉や詩、そして未完の傑作『銀河鉄道の夜』をひもときながら、先輩の謎を追い、やがてそれぞれの「ほんとう」と直面する。今を生きる高校生たちの青春と、宮沢賢治の言葉が深く共鳴する感動長編！

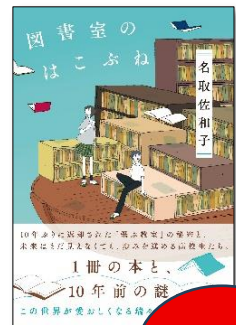


名取佐和子 プロフィール

(なとり・さわこ)

兵庫県生まれ。明治大学卒業。ゲーム会社に勤務した後、独立。2010年『交番の夜』で作家デビュー。著書に第5回エキナカ書店大賞を受賞した『ペンギン鉄道 なくしもの係』、『金曜日の本屋さん』『江の島ねこもり食堂』『逃がし屋トナカイ』『ひねもすなむなむ』『図書館のはこぶね』『文庫旅館で待つ本は』ほか多数。

『図書館のはこぶね』
2022年 実業之日本社刊



5刷！